

あおもりのづくり企業バンク

地元企業の魅力を知ろう!

県内の製造業や建設業など「ものづくり企業」への就職活動などに活用できる情報を、分かりやすくコンパクトにまとめた県内企業情報サイトです。

掲載情報

- 企業基本情報 ●採用関連情報 ●職場環境情報
- 福利厚生・研修制度情報 ●認定企業情報 ●社員からのメッセージ ●インターンシップ・職場見学情報等

詳しくは、県庁HP

データは
随時更新
します

詳しくはこちらから



連携強化が拡大しています

県外大学との連携協定

県外大学に進学した学生の還流を促進するため、県では、下記大学と連携協定を締結しています。(協定締結順)

- | | | |
|----------|-------|--------|
| 専修大学 | 日本大学 | 東北工業大学 |
| 拓殖大学 | 国土舘大学 | 尚絅学院大学 |
| 立正大学 | 中央大学 | 創価大学 |
| 創価女子短期大学 | 神奈川大学 | |

県と県外の大学が連携。 Uターン就職を支援!

中央大学は、2019年2月に青森県と連携協定を結び、県内の企業情報や雇用情勢、就活イベントなどの情報を学生に伝え、学生のUターン就職の支援に取り組んでいます。

早目の採用活動と積極的な情報発信を

本学の在籍者は、約33パーセントが首都圏以外の出身者(2019年度現在)。地元就職を希望する学生も多いのですが、Uターン率は約29.9パーセントと決して高いとは言えません。その理由として、地方企業の情報発信力不足から、企業の魅力や採用情報がうまく学生に伝わっていないこと、さらに、地方に比べて首都圏企業の方がインターンシップの実施が早いいため、採用活動で遅れを取ってしまうことが考えられます。

本学の学生の6〜7割が「企業選



中央大学キャリアセンター 副部長
池田 浩二 さん
2016年から現職。学生一人一人の夢を叶えるため、常に学生視点で熱い指導にあたる就活の強力なサポーター役。

択の決め手は「インターンシップ」と答えているように、インターンシップは学生に企業のことを知ってもらい、社内の雰囲気を感じてもらおうという絶好のチャンスなのです。そのため、インターンシップに参加するための交通費や宿泊費の一部を企業が助成するケースも増えています。

学生の心をつかむインターンシップの工夫

インターンシップは、学生が参加しやすい夏・冬・春休みに実施するのが望ましいですね。青森県など東北出身の学生は、お盆に帰省する人が多いので、地域の特色や風習に合わせて日程を決めることも大事です。

インターンシップは、プログラムや自社製品の見せ方ひとつで、その企業を学生に印象づけられます。たとえば、ものづくりの会社を訪ねた場合、部品だけ見ても学生はピンと来ないかもしれません。しかし、完成品と並べて見せることで、具体的にイメージしやすくなります。こうした見せ方の工夫は、会社の規模に関わらず実践できますよね。また、学生にとって身近なスマートフォンを活用したPR方法もあります。

QRコードを読み取ってもらい、そこから企業情報を発信すれば、継続的に学生に情報を届けられる可能性が広がります。

今後ますます人口減少が進むなか、人材確保は地方の大きな課題です。青森県全体で若者を定着させるという視点で考えれば、合同開催型インターンシップなど、企業間の壁を越えた新しい試みも必要になってくるのかもしれない。

今後さまざまな機関と連携しながら、青森県の未来を担う人材確保につなげていければと思っています。



若者に青森の 仕事の魅力を 伝えよう。

企業と家庭と学校がそれぞれの立場でできることを。